

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 28 日

評価対象事業	評価者	市民健康課長	石黒 知美
健福-42 成人健康診査事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	市民健康課
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針
			市民の健康と安心づくりの推進

1 事業の目的

対象	健診対象年齢に達した市民
意図	生活習慣病の予防と重症化の防止、結核の早期発見・治療のため。
効果	市民1人ひとりが自分の健康状態に留意し、健康を害する生活習慣を改善し、医療費の抑制につなげる。結核を予防し、まん延を防ぐ。

2 平成27年度に実施した事業の概要

肺の直接X線撮影を実施した。(16歳～39歳)
 若年期からの生活習慣病予防のため、20歳代～30歳代の方を対象にキット健診を実施した。平成27年度は、委託業者が実施する無料実証事業に参加したため、自己負担金・委託料共に無料で実施した。
 40,45,50,55,60歳の方に無料で肝炎検診を実施した。(無料クーポン券検診)
 40歳以上で今まで鎌倉市の肝炎検診を受診していない希望者(無料クーポン券検診に該当しない方)に肝炎検診を実施した。
 20歳～36歳の方に4歳刻みで、40歳～70歳の方に10歳刻みで歯周疾患検診を実施した。(問診、口腔内検査)

3 事業費等基礎データ

データ 人口等の データ	データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考 ・各年3月31日 (住民基本台帳)
	人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	
	世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
	事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	14,642	15,960	当初予算(千円)	11,530	
	国県支出金	10,017	10,879	国県支出金	5,635	
	地方債	0	0	地方債	0	
	その他	0	0	その他	0	
	一般財源	4,625	5,081	一般財源	5,895	
	人員配置数	0.5	0.4	人員配置数	1.5	
	人 件 費(千円)	3,786	3,225	人 件 費(千円)	11,819	
事業 経費 運営	総事業費(千円)	18,428	19,185	総事業費(千円)	23,349	
	市民1人当りの 経費(円)	104	108	市民1人当りの 経費(円)	132	
	対象者1人当りの 経費(円)			対象者1人当りの 経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 十分な成果が出ている
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
	○.負担導入済	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
	⇒	⇒ 事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由
		受診率向上のため、今後も健診の見直しを図り、周知方法についても検討していく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	健康寿命の延伸や生活習慣病の予防及び早期発見・早期治療の推進を図るのため、引き続き、健診のあり方を検討し、取り組みの充実を図る。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	受診率の伸び悩み(特に、生活習慣病発症リスクの高い30歳代男性)を解消する必要がある。	
課題解決のために行った平成27年度の実績	市民の利便性を考慮し、8か月間から9か月間へ受診期間の変更を行った。 健診のお知らせのうち、健診検診から保健指導への流れをわかりやすく記したパンフレットを同封した。	☐ 解決 ☐ 一部解決 ☒ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	引き続き、受診率の伸び悩み(特に、生活習慣病発症リスクの高い30歳代男性)を解消する必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容						単位	指標の傾向				備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
		目標値									
		実績値									
		達成率									
指標の内容						単位	指標の傾向				備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
		目標値									
		実績値									
		達成率									
指標の内容						単位	指標の傾向				備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
		目標値									
		実績値									
		達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---